

広島県インバウンド振興に向けた人流推計

2026年6月



協力 広島空港振興協議会

協力  ひろぎんHD / 広島銀行

協力  DBJ デジタルソリューションズ
日本政策投資銀行グループ

Executive Summary

当レポートは、DBJグループ（(株)日本政策投資銀行および(株)DBJデジタルソリューションズ）並びに広島空港振興協議会（広島県、広島国際空港(株)を中心としています）および(株)広島銀行が、広島県域におけるインバウンド振興の方向性や施策に関する議論を共同で深めるために、その起点となる一題材として発行するレポートであり、(株)日本政策投資銀行中国支店が2025年9月に公表したレポート（※）の続編としての位置付けにある

レポートでは、次のデータを収集し、簡易的な分析を行った

- （調査①）全国・広島県のインバウンドの概況（国籍、来訪者数、消費単価等）（→1.1～1.3）
- （調査②）訪問者の大小による広島県内23市町の訪問状況（ヒートマップの作成）（→2.1～2.3）
- （調査③）北海道／倶知安町へのオーストラリア人の訪問者の他地域への周遊状況（→3.1～3.2）

その結果、以下の点を確認した

1. インバウンドによる来日者数が過去最高を更新している中、各地域への入込も概ね過去最高を更新しているが、東京・大阪の2大都市部周辺と広島県を含むそれ以外の地方部では、訪問者数の偏りが著しく、加えて、インバウンドの1人当たり1旅行当たりの単価も、地域間で大きな格差があった
2. 上述の来訪者の著しい偏りや単価の格差により、インバウンド消費額にも都市と地域の間もしくは各地域間で大きな隔たりが生じている
3. 広島県内23市町においても来訪者数に大きな偏りがあることが分かった。故に、県内の消費額にも市町間で大きな隔たりがあると推定される
4. 欧米豪からの北海道訪問者においては、オーストラリア人の消費単価は高く、リピート割合も多いことから、魅力的な市場との期待ができる
5. 北海道／倶知安町訪問者のうち広島県同時訪問者の割合は、2%程度であり、同時訪問を拡大させる余地は十分にある
6. 北海道へのインバウンド訪問者は冬季に多い一方、冬季の広島県同時訪問者割合は通期に比して低位であるため、広島の冬季観光戦略を強化することで、同時訪問の拡大が期待される

前回レポートでは、①広島県のインバウンド観光が通過型であり、消費の少ないこと、②訪問者数は、欧米豪他がアジアを上回るが、県内の消費単価はアジアが欧米豪を上回ること等、を確認したが、それらに加えて今回の確認事項も活用しながら、そして今後新たなデータを取得・分析しながら、DBJグループと広島空港振興協議会が共同で検討を深め、特定地域のインバウンド（例えば、北海道を訪問するオーストラリア人）の呼び込みや、広島県/広島空港を基軸とした、瀬戸内観光のハブ機能強化、等を目指すことで、より多くの消費獲得につなげていくことを期待したい

（※）「広島県インバウンドの人流と消費の推計～人流データ・観光庁個票データ活用～」

<https://www.dbj.jp/upload/investigate/docs/12e29b5274f9a0968aa29565e5848993.pdf>

序 調査目的

1. インバウンド概況

- 1.1 インバウンドの推移（全国）
- 1.2 都道府県別（来訪者数・旅行消費単価・消費総額）
- 1.3 北海道訪問者（欧米豪）の旅行消費単価および来日回数

2. （広島県）23市町のヒートマップ

- 2.1 23市町のヒートマップと国籍別の割合
- 2.2 23市町のヒートマップ（欧米豪他）
- 2.3 23市町のヒートマップ（アジア）
- 参考 コロナ前との国際定期便 就航便数比較

3. 北海道からの誘客の検討

- 3.1 北海道訪問者の周遊先
- 3.2 倶知安町訪問者の周遊先

当レポートにおける用語の定義

- ・東アジア
- ・東南アジア
- ・南アジア
- ・アジア
- ・欧米豪（・他）
- ・個票データ
- … 特に記載のない限り、韓国、台湾、香港、中国とする
- … 特に記載のない限り、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナムとする
- … 特に記載のない限り、インドとする
- … 特に記載のない限り、東アジア、東南アジア・南アジアとする。
- … 特に記載のない限り、英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、ロシア、米国、カナダ・オーストラリア（、その他（ヨーロッパ諸国、オセアニア諸国））とする。
- … 特に記載のない限り、観光庁「インバウンド消費動向調査」における訪日外国人旅行者一人ひとりの回答内容をまとめた生データ

序 調査目的

広島県のインバウンドを対象とした地域レポートとして、2025年9月に「広島県インバウンドの人流と消費の推計～人流データ・観光庁個票データ活用～」と題したレポート（※）を(株)日本政策投資銀行中国支店より公表し、その中で①広島県のインバウンド観光が通過型であり、消費が小さいこと、②訪問者数は欧米豪他がアジアを上回るが、県内の消費単価はアジアが欧米豪他を上回ること、等を人流データおよび統計データを使って確認した。その際、感謝に堪えないほど多くの、示唆に富んだご意見・ご指摘を各方面より賜ったが、広島空港振興協議会（広島県、広島国際空港(株)を中心としています）および(株)広島銀行からは、特に強いご関心と深いご賢察もあり、同協議会とは、レポート公表後にも貴重な機会として、(株)DBJデジタルソリューションズ提供のデータを使用した共同の勉強会を数度行わせていただいた（以下、広島空港振興協議会、(株)広島銀行、(株)日本政策投資銀行および(株)DBJデジタルソリューションズを合わせて、「勉強会メンバー」といいます）

本レポートでは、そのご関心・ご賢察や勉強会での議論を礎に、また、上記レポートの第2弾の位置付けとして、勉強会メンバーが追加的に次のデータ収集と簡易的な分析を行っている

- （調査①）全国における広島県のインバウンドの概況（国籍、来訪者数、消費単価等）（→1.1～1.3）
- （調査②）訪問者の大小による広島県内23市町のヒートマップの作成（→2.1～2.3）
- （調査③）北海道／倶知安町へのオーストラリア人訪問者の他地域への周遊状況調査（→3.1～3.2）

調査①では、インバウンドの目的の1つが消費であることから、来訪者数や消費単価を調査した

調査②では、広島県/広島空港の瀬戸内観光のハブ機能等の可能性や課題を探るため、県内23市町のインバウンド訪問者の多寡を把握すべく行った

調査③では、地方周遊を積極的に行い1旅行あたりの消費額も多い欧米豪観光客のうち、日本をよく知りピーターも多いとされるオーストラリア人の広島県への周遊を検討するために、オーストラリア人訪問者が多いとされる北海道／倶知安町にスポットを当て、北海道／倶知安町を訪れるオーストラリア人の現在の同時周遊先を調査している

勉強会メンバーは、今後の広島県域におけるインバウンド振興の方向性や施策を検討・深掘りするために、また、その起点・材料として、本レポートを活用していくことを展望しているが、勉強会メンバーのみならず、消費拡大を目的とした地域インバウンド振興や持続可能な観光のあり方を検討する関係者にとって、今後の施策立案や展望の一助となれば幸いである

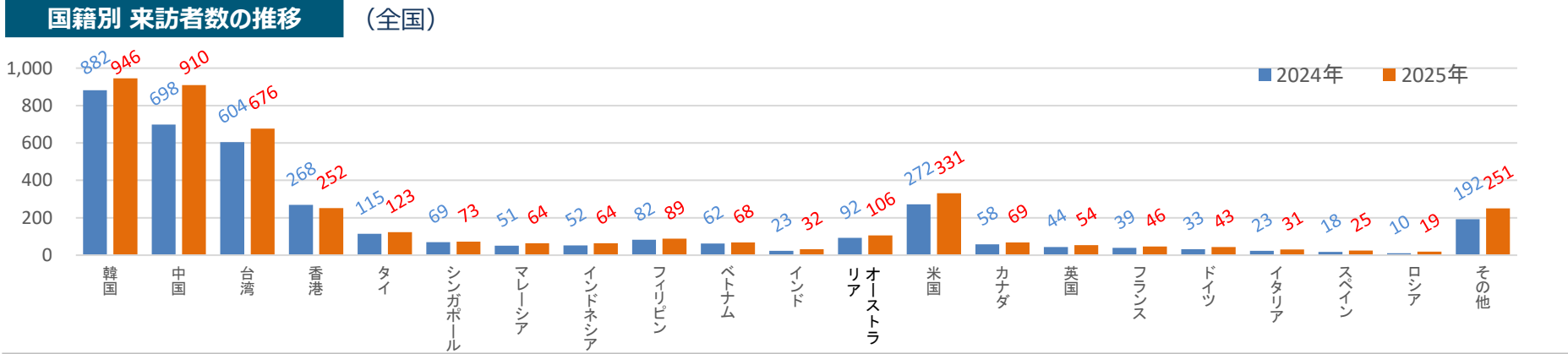
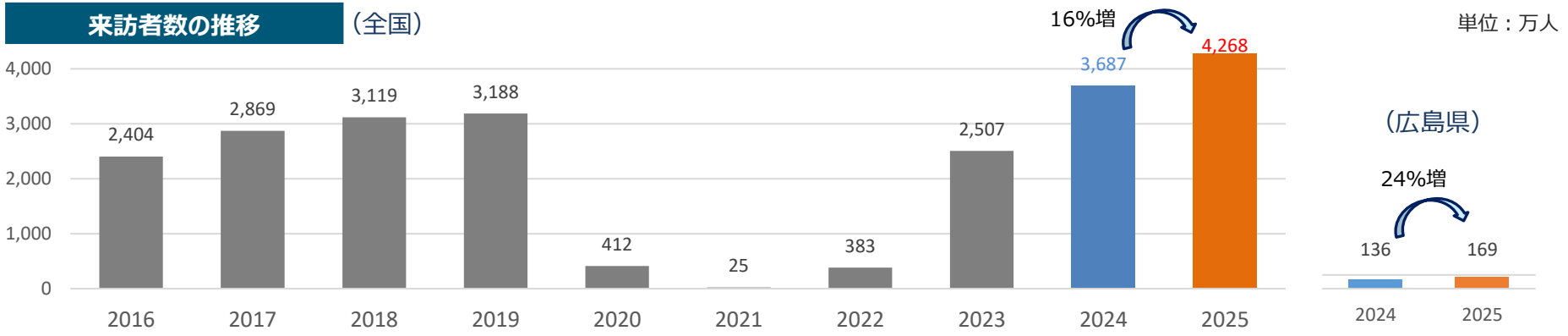
（※） <https://www.dbj.jp/upload/investigate/docs/12e29b5274f9a0968aa29565e5848993.pdf>

1. インバウンド概況

1.1 インバウンドの推移（全国・広島県）

インバウンド来訪者は、過去最大。東アジアが市場の中心ながら各国籍・地域で増加基調

- 訪日外客数は、ビザ発行要件緩和や円安基調などを背景に東アジア4地域を中心に右肩上がりに増加していたがコロナ禍で蒸発。その後、水際措置撤廃（2023年4月）から急回復し、2025年においては、過去最高となった2024年を更に上回る4,268万人を記録。広島県の来訪者も伸びており（前年比+24%増）、全国の伸び（前年比+16%増）を上回った
- 2025年の国・地域別では、韓国（946万人）が引き続き最大。中国は2019年の水準にこそ達しないものの前年から大幅増（910万人）、豪州も100万人を突破（106万人）、香港が減少した（252万人）

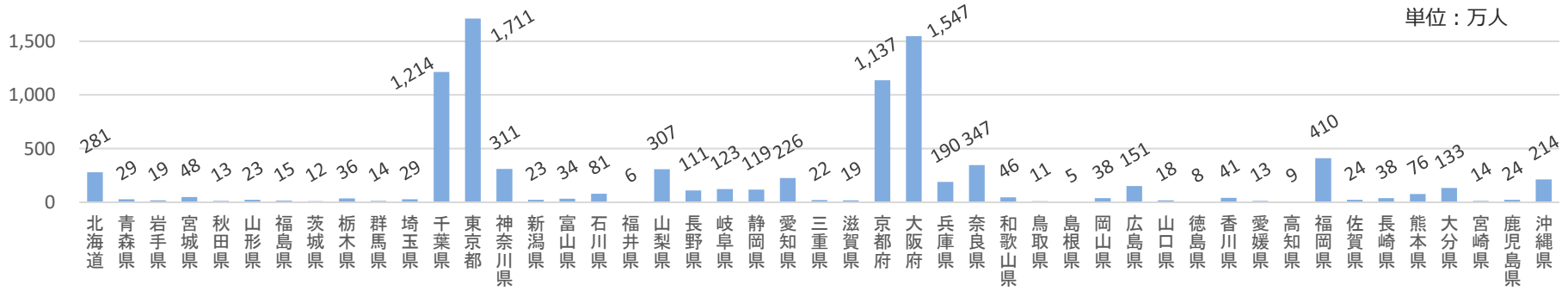


1.2 都道府県別の来訪者数

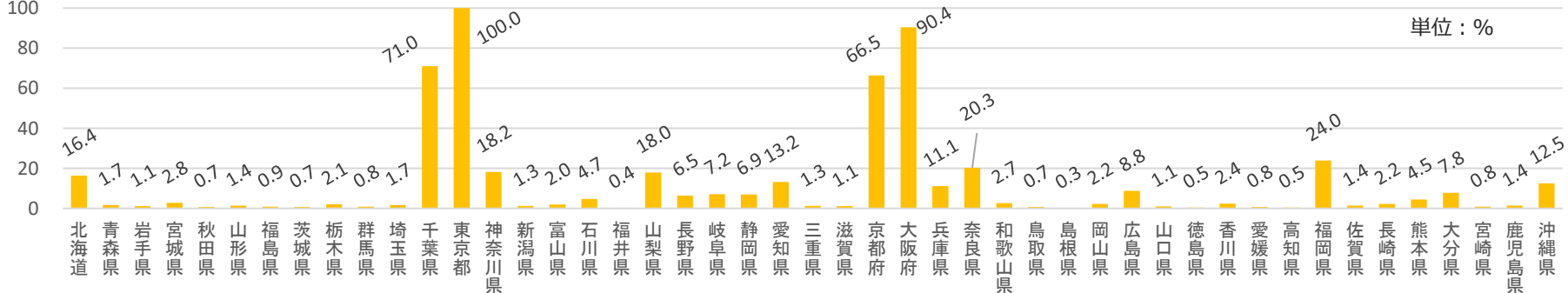
来訪者数は、東京都、千葉県、大阪府、京都府など2大都市周辺に著しく偏る

- 都道府県別の来訪者数では、東京都（1,711万人）、大阪府（1,547万人）、千葉県（1,214万人）、京都府（1,137万人）が上位となり、日本を代表する都市機能・国際空港・観光地等を有する2大都市周辺に集中
- 前頁で広島県への来訪者の伸びは、全国を上回る伸びとなったが、来訪者数は151万人で東京都の8.8%程度。過半の県で来訪者数は50万人未満となり、東京を100%とした割合でも過半の県が5%未満にある（→広島県を含む地方周遊のポテンシャルは十分にあるともいえる）

来訪者数



来訪者数 (東京都を100とした場合)



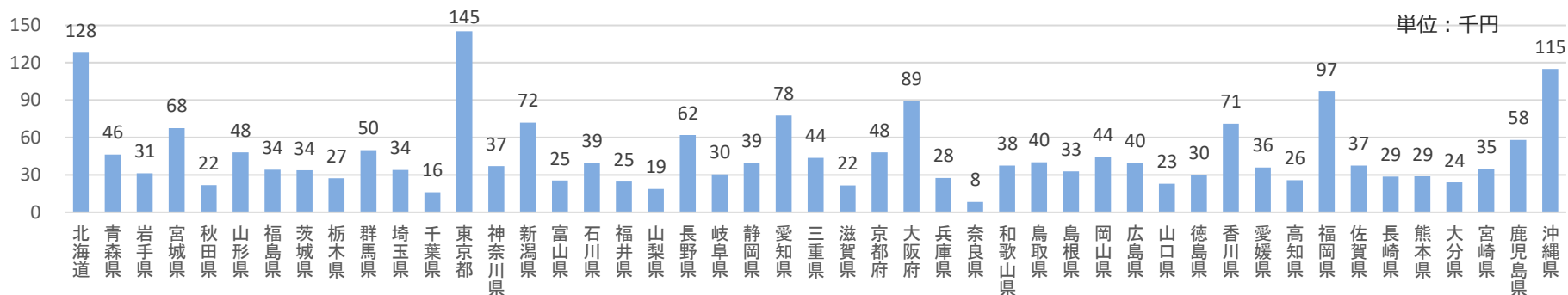
出典：観光庁 インバウンド消費動向調査（2025年 年間）【観光・レジャー目的】より作成

1.2 都道府県別の旅行消費単価（1人1回当たり）

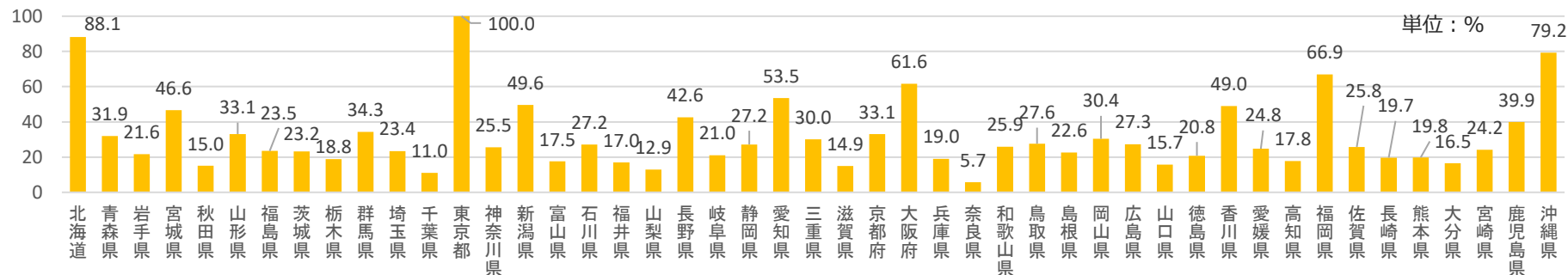
東京都が消費単価でも首位、北海道・沖縄が続く、奈良県とは17倍以上の格差

- 都道府県別の旅行消費単価（1人1回当たり）では、東京都（145千円）、北海道（128千円）、沖縄県（115千円）が上位となり、福岡県（97千円）、大阪府（89千円）、愛知県（72千円）が続いた。また、1位の東京都を100%とした場合、消費単価が5割を超えた地域は、この5道府県のみで、47位の奈良県（8千円）と東京都で17倍以上の大きな格差となった
- 消費単価は、夏季・冬季のリゾート性の高い観光資源を有する北海道や沖縄県で大きい一方、2大都市圏周辺に位置し訪問者数は多かった千葉県（16千円）・京都府（48千円）・奈良県では相対的に小さい。広島県（40千円）は、中間に位置する水準

旅行消費単価



旅行消費単価（東京都を100とした場合）



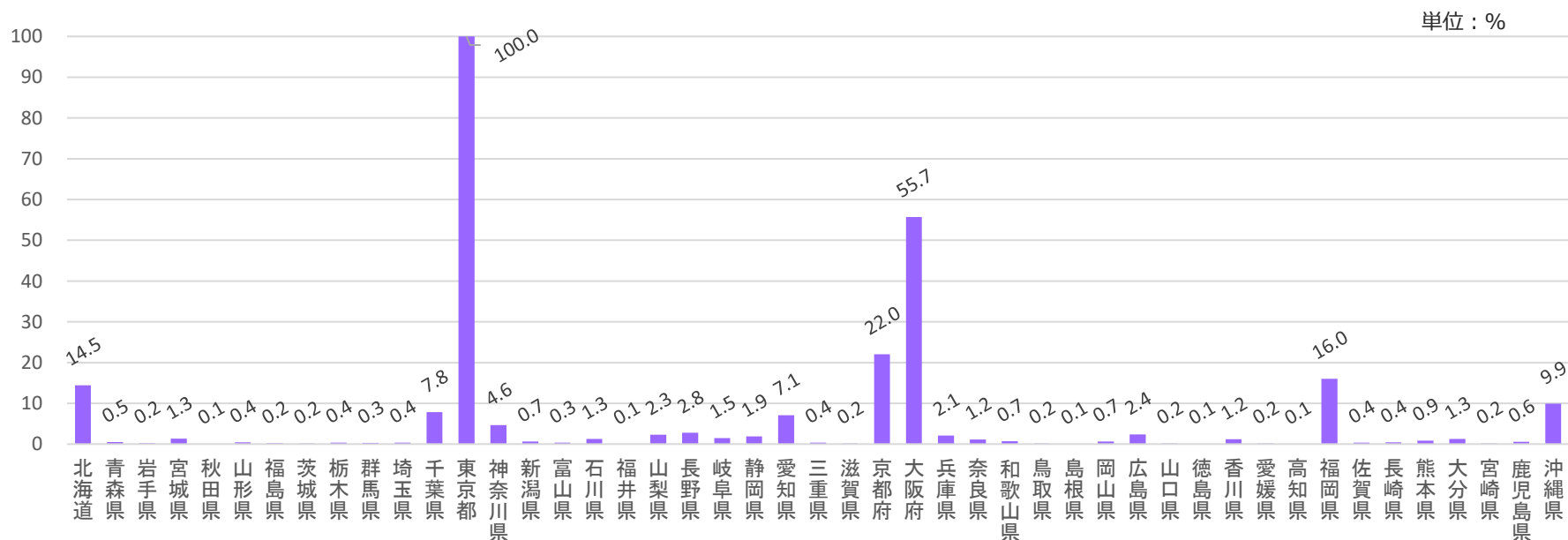
1.2 都道府県別の消費総額

東京都、大阪府が突出。京都府、福岡県、北海道、沖縄が続く。多くの県で上位とは大きな隔たり

- 来訪者数（6頁）および旅行消費単価（7頁）から都道府県別の消費総額を算出し比較した。東京都を100%とした場合、来訪者の多い大阪府（55.7%）、京都府（22.0%）が続き、福岡県（16.0%）が4位。以降、消費単価の高い北海道（14.5%）、沖縄県（9.9%）の順
- 過半の県で1%未満となるなど、地方部における消費は小さく、上位との隔たりが大きい。広島県（2.4%）は、中国地方では最大の消費額となったが、大阪府の20分の1、福岡県・北海道の6分の1、沖縄県の4分の1ほど

（概算にはなるが、消費総額の絶対額は、東京都：2.5兆円程度、広島県：600億円程度）

旅行消費額（東京都を100とした場合）

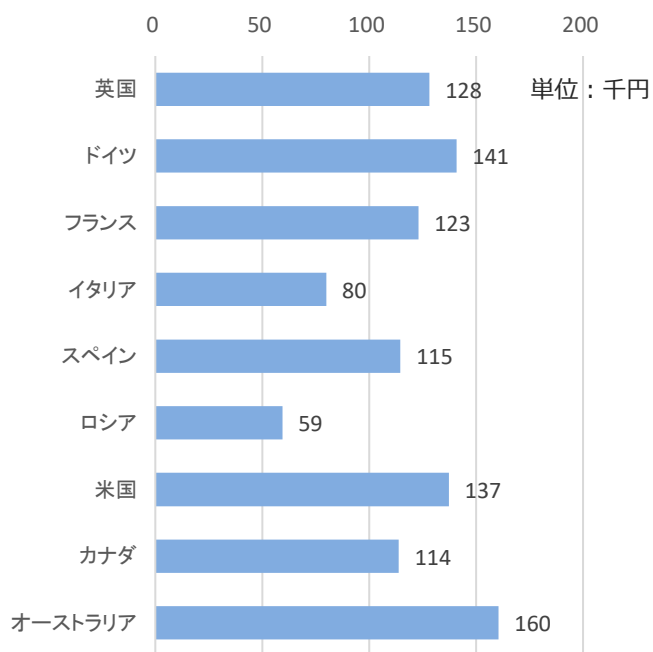


1.3 北海道訪問者（欧米豪）の旅行消費単価および来日回数

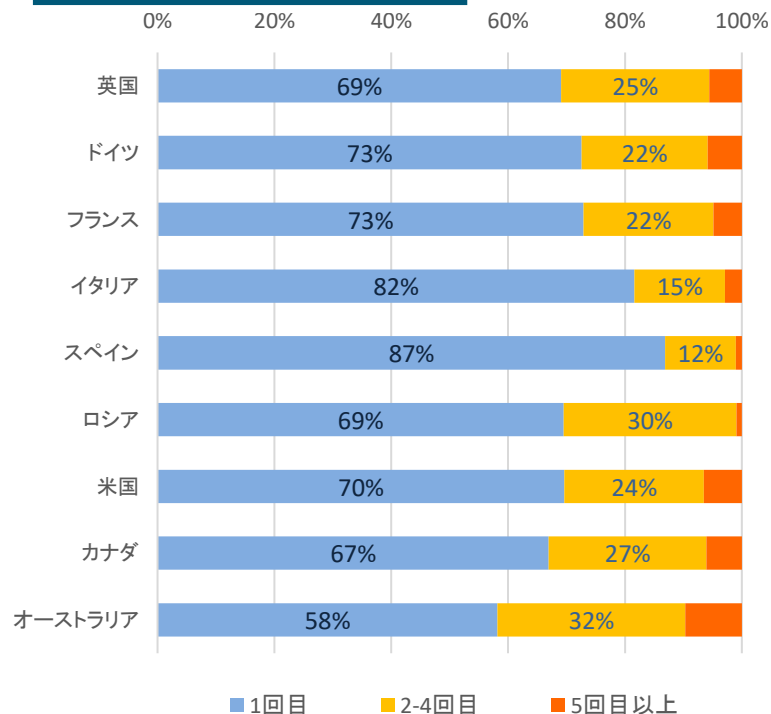
周遊する欧米豪のうち、オーストラリアは消費単価が高く、リピーターの占める割合も多い

- 3章では、北海道から広島への誘客（とりわけ欧米豪他）の余地を検討する。その為、北海道の欧米豪訪問者について基礎的な調査を行った
- 欧米豪による北海道訪問者の旅行消費単価（1人1回当たり）は、オーストラリア（160千円）が最も大きく、ドイツ（141千円）、米国（137千円）が続いた。イタリア、ロシアは、小さい
- 欧米豪による北海道訪問者の訪日回数を調べたところ、再訪者（リピート）の割合は、オーストラリア（42%）が最も高く、カナダ、英国、ロシアの順
- オーストラリアからの来訪者は、2025年には100万人を超え、欧米豪では、米国に次ぐ（5頁参照）。消費単価、リピート割合が共に高いオーストラリアは、市場としての魅力が期待できる

1人1回当たり旅行消費単価（北海道訪問者）



日本への来訪回数の割合（北海道訪問者）



2.

23市町のヒートマップ（来訪者数）・国籍割合

広島県/広島空港の瀬戸内観光のハブ機能等の可能性や課題を探るため、県内23市町のインバウンド訪問者の多寡を把握すべく行った

留意点 人流計測値について

人流は推計値。カウント方法も各様。実数よりも相対的な比較として利用

- 次ページ以降のヒートマップ（2.1～2.3）は、Agoop人流データを活用した。本分析において全てに「来訪者数」と記載しているが、正しくは「推計した来訪者数」であることに注意いただきたい。集計された来訪者数は、一般に採用した分析ツールごとに集計仕様が大きく異なり、値のもつ特徴が異なることも多い
- 下表において、Agoop来訪者数と他のデータソースおよび広島市のデータを並べて相対的な比較をすることとした

来訪者のソース別比較

分析ケース	来訪者数 (年間)	出典
1. 広島市（人流計測）	72万人 (2025年)	Agoopインバウンドデータ（前述のヒートマップの値） 滞在判定：60分以上
2. 広島市（人流計測）	124万人 (2025年)	ナビタイムジャパン「インバウンドプロファイラー」 滞在判定：30分以上
3. 広島市（入込観光客数）	251万人 (R6年：2024年)	ひろしま公式観光サイト（広島県観光連盟・広島市） 第7表 市場別外国人観光客数*1 https://dive-hiroshima.com/business/news/news-31201/

*1) 第7表 市場別外国人観光客数

注1：交通結節点（JR主要駅、広島空港、広島港、広島バスセンター、高速道路インターチェンジ等）での流入量を基に積算した。

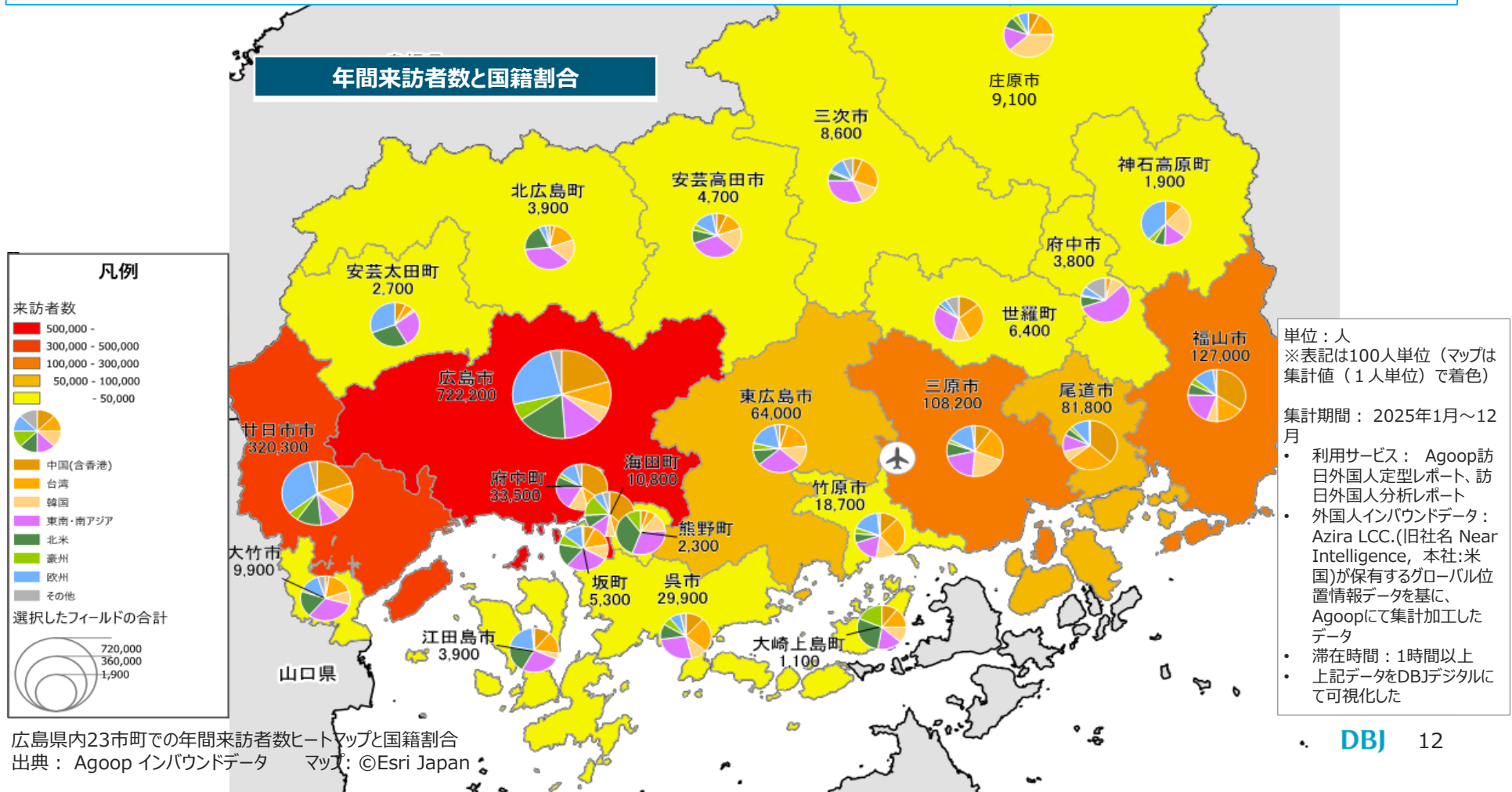
注2：国が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」の推計方法を活用し、市内の観光地点及び行祭事・イベントにおける入込観光客数についても、参考として積算している。

注3：市内の観光地点（広島平和記念資料館や広島城など36地点）、行祭事・イベント（ひろしまフラワーフェスティバルやプロ野球観戦など20件）における集客数を基に積算しており、これら以外の商店街などへの観光客は含まれていない。 ※交通結節点と観光地点のパラメータ調査を組み合わせた推計

2.1 23市町のヒートマップ^①（来訪者・全国籍）および国籍別の割合

平和公園・原爆ドームのある広島市、宮島の廿日市市への人流旺盛、かつ半数超が欧米豪他

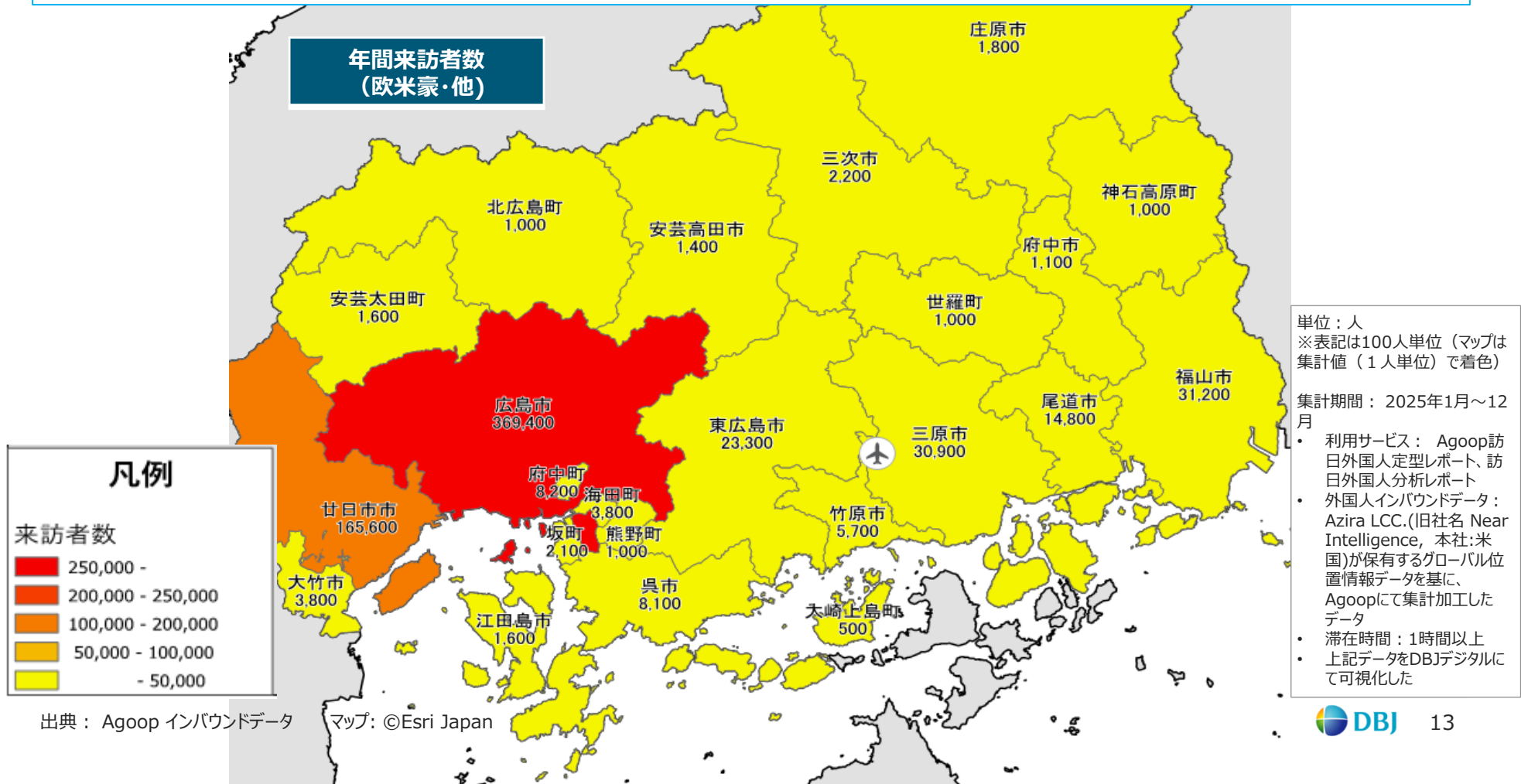
- 広島市・廿日市市に来訪者が集中、2市に次ぐ福山市は広島市の18%。三原市が同15%、尾道市同11%、東広島市同9%で続く。多くの市で広島市の5%未満となった。空港を有する三原市や瀬戸内観光の拠点となり得る尾道市で誘客余地あり
- 県内23市町で来訪者数に大きな偏りがあることから、前章（6頁～8頁）からして、県内の消費総額にも市町間で大きな隔りがあると推定される。



2.2 23市町のヒートマップ° (欧米豪他からの来訪者)

欧米豪他に限ると、2市が他を更に圧倒、偏りが高まる。三原市や尾道市での誘客余地も拡大

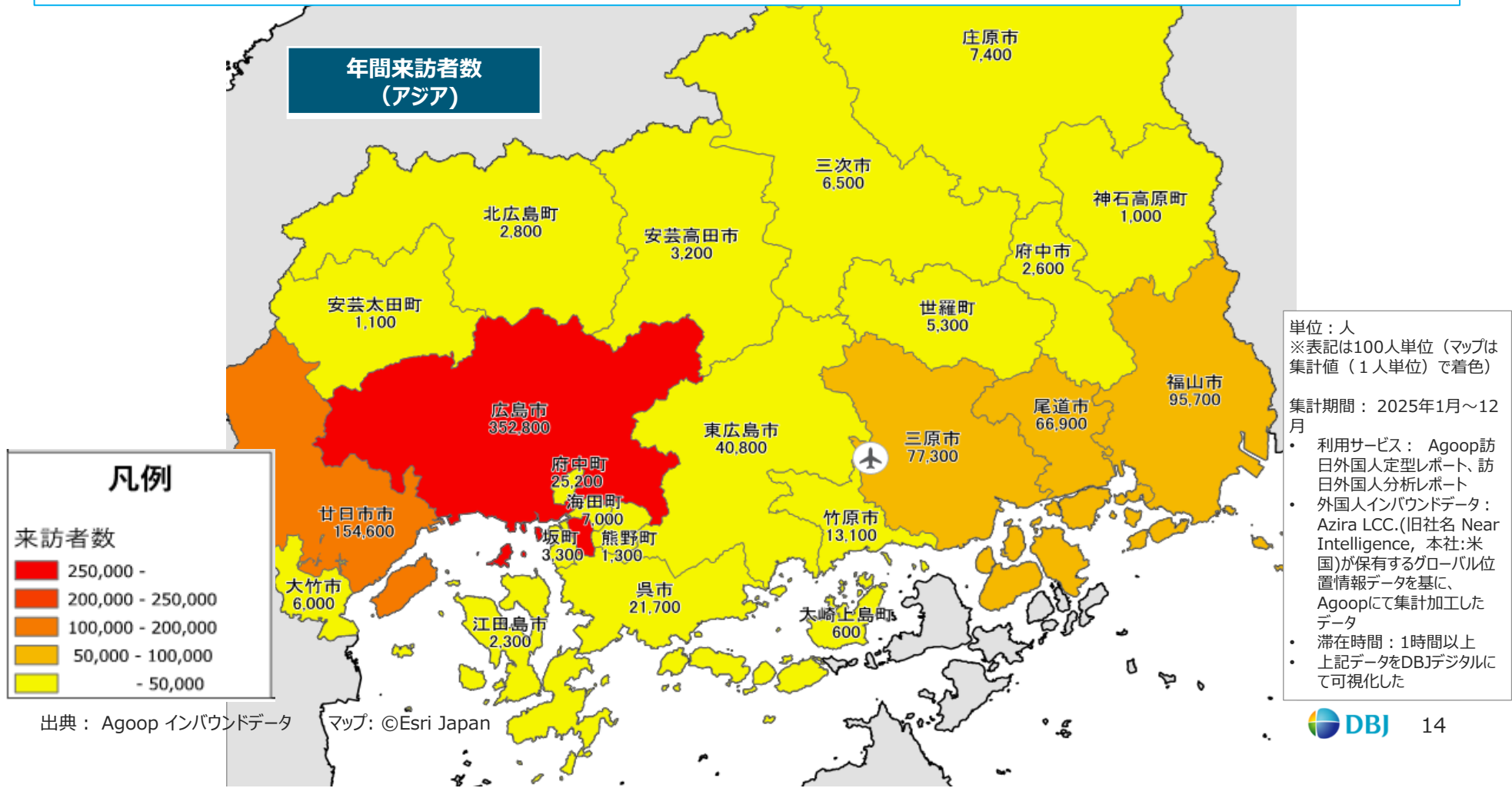
- 欧米豪他では、広島市・廿日市市への集中度合いが高まる。2市に次ぐ福山市・三原市は、広島市の8%の人流を確認。東広島市が同6%、尾道市同4%、府中町・呉市同2%の順。
- 多くの市町で広島市の2%未満。空港を有する三原市や瀬戸内観光の拠点となり得る尾道市での誘客余地も拡大



2.3 23市町のヒートマップ（アジアからの来訪者）

アジアの人流も2市で多く、欧米豪に迫る人流を確認。2市以外は、欧米豪よりアジアの人流が多い

- 広島市、廿日市市に次ぐ福山市（広島市の27%）および三原市（同22%）は、欧米豪他の2～3倍超のアジア人の人流を確認。尾道市が全体・欧米豪他で上位の東広島市を逆転。アジア人の人流は、概ね欧米豪他の人流よりも多い（2市と安芸太田町を除く）。庄原市の人流は、アジア人が欧米豪他の4倍



参考 コロナ前との国際定期便 就航便数比較

【2019年（コロナ前）と2025年の比較】

- ・ 関西空港では、欧米豪路線が5割強の回復にとどまる一方、中国便を中心にアジア路線の増便が寄与し、コロナ前を超える水準まで回復。
- ・ 中国・四国の空港では、広島空港・高松空港・松山空港で韓国便が大幅増便しているものの、都市部に比べて中国便の回復が遅れている。また、松山空港では台湾便も増えている。就航便の内訳に変化はあるものの、岡山空港を除く4空港でコロナ前を上回る水準まで回復した。
- ・ アジア路線は、岡山空港を除いて、コロナ前並み、もしくは上回る便数で運航している。
- ・ 欧米豪路線（成田空港・羽田空港・関西空港）でコロナ前を超えているのは、羽田空港のみとなっている。

(便数/週)

	成田空港			羽田空港			関西空港			中四国5空港														
										岡山空港			広島空港			米子空港			高松空港			松山空港		
	2019	2025	19比	2019	2025	19比	2019	2025	19比	2019	2025	19比	2019	2025	19比	2019	2025	19比	2019	2025	19比	2019	2025	19比
アジア	1042	1177	113%	589	629	107%	1,160	1,294	112%	23	16	70%	23	26.5	115%	8	8	100%	23	32	139%	5	24	480%
韓国	241	266	111%	105	105	100%	358	370	103%	7	4	57%	3	11	367%	6	5	-	7	14	200%	3	17	567%
中国	218	281	129%	168	214	127%	396	492	124%	7	3	43%	7	4	57%	0	0	0%	5	4	80%	2	0	0%
台湾	145	147	102%	70	70	100%	134	131	98%	7	9	129%	7	4.5	64%	0	0	0%	7	7	100%	0	7	-
香港	117	130	111%	55.5	49.5	89%	111	131	118%	2	0	0%	3	4	133%	2	3	150%	4	7	175%	0	0	0%
東南アジア	322	353	110%	190	190	100%	161	170	106%	0	0	0%	3	3	100%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
タイ	77	70.5	92%	49.5	49	99%	46	47	102%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
フィリピン	83.5	103	123%	28	28	100%	27.5	39	142%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
ベトナム	63	70.5	112%	21	28	133%	42	35	83%	0	0	0%	0	3	-	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
欧米豪	389	228	58%	153	350	229%	87	47	54%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
その他	267	181	68%	70	123	176%	39	51	131%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
合計	1,698	1,585	93%	812	1,102	136%	1,286	1,392	108%	23	16	70%	23	26.5	115%	8	8	100%	23	32	139%	5	24	480%

備考1) 2019年比で回復率が100%以上のデータを赤字で記載

備考2) 端数処理を行っていないため、合計が一致しないことがある

備考3) 東南アジア：タイ・フィリピン・ベトナム・シンガポール・マレーシア・インドネシア、欧米豪：イギリス・フランス・米国・オーストラリア

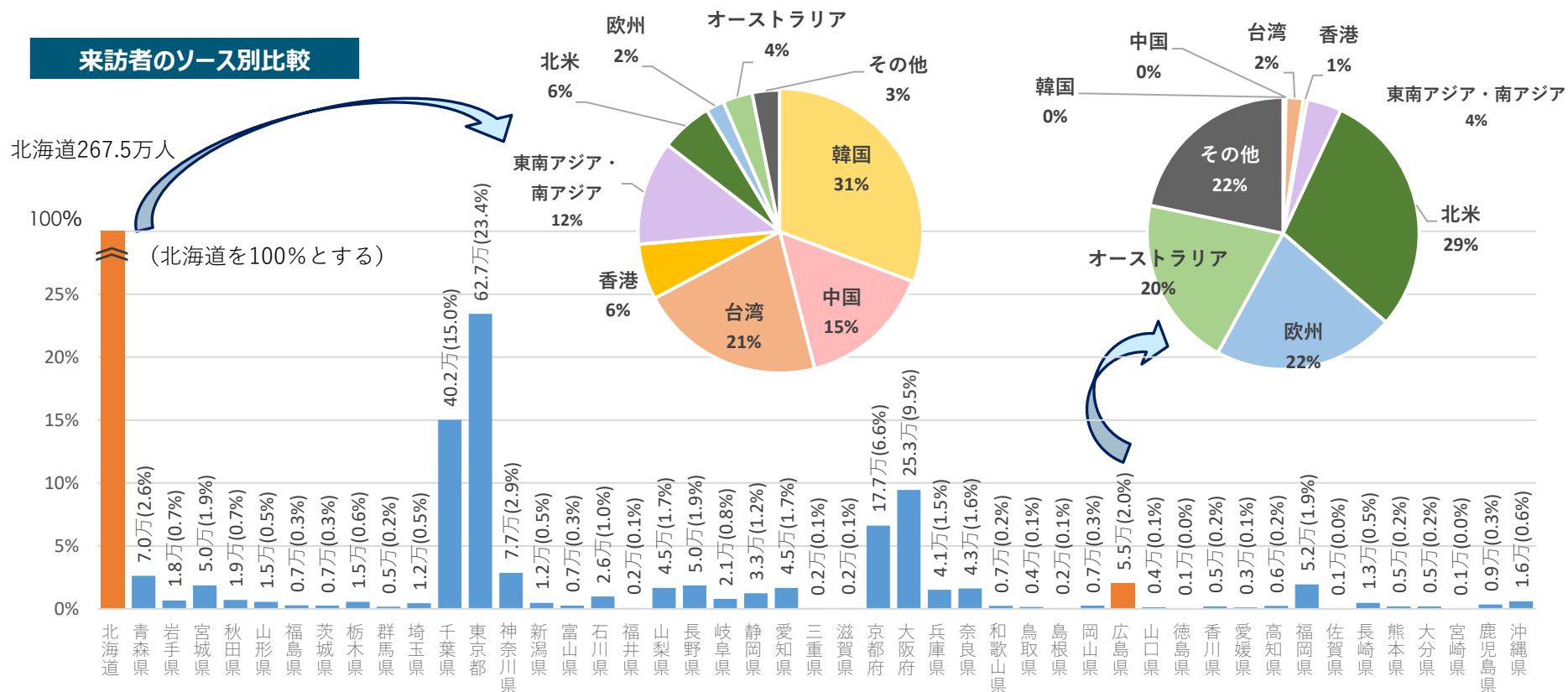
3. 北海道からの誘客の検討

地方周遊を積極的に行い1旅行あたりの消費額も多い欧米豪観光客のうち、日本をよく知りリピーターも多いとされるオーストラリア人の広島県への周遊を検討するために、オーストラリア人訪問者が多いとされる北海道／倶知安町にスポットを当て、北海道／倶知安町を訪れるオーストラリア人の現在の同時周遊先を調査している

3.1 北海道訪問者の周遊先（都道府県別・通年）

広島県は第7位も同時周遊者は2%程度、同時周遊者の7割が欧米豪でアジアは僅か

- 2024年度の北海道訪問者の同時周遊率は、東京都（23.4%）、千葉県（15.0%）、大阪府（9.5%）、京都府（6.6%）、神奈川県（2.9%）、青森県（2.6%）、広島県（2.0%）の順
- 北海道訪問者の欧米豪の割合（12%）に比して広島県同時往訪者の欧米豪の割合（71%）は格段に高い



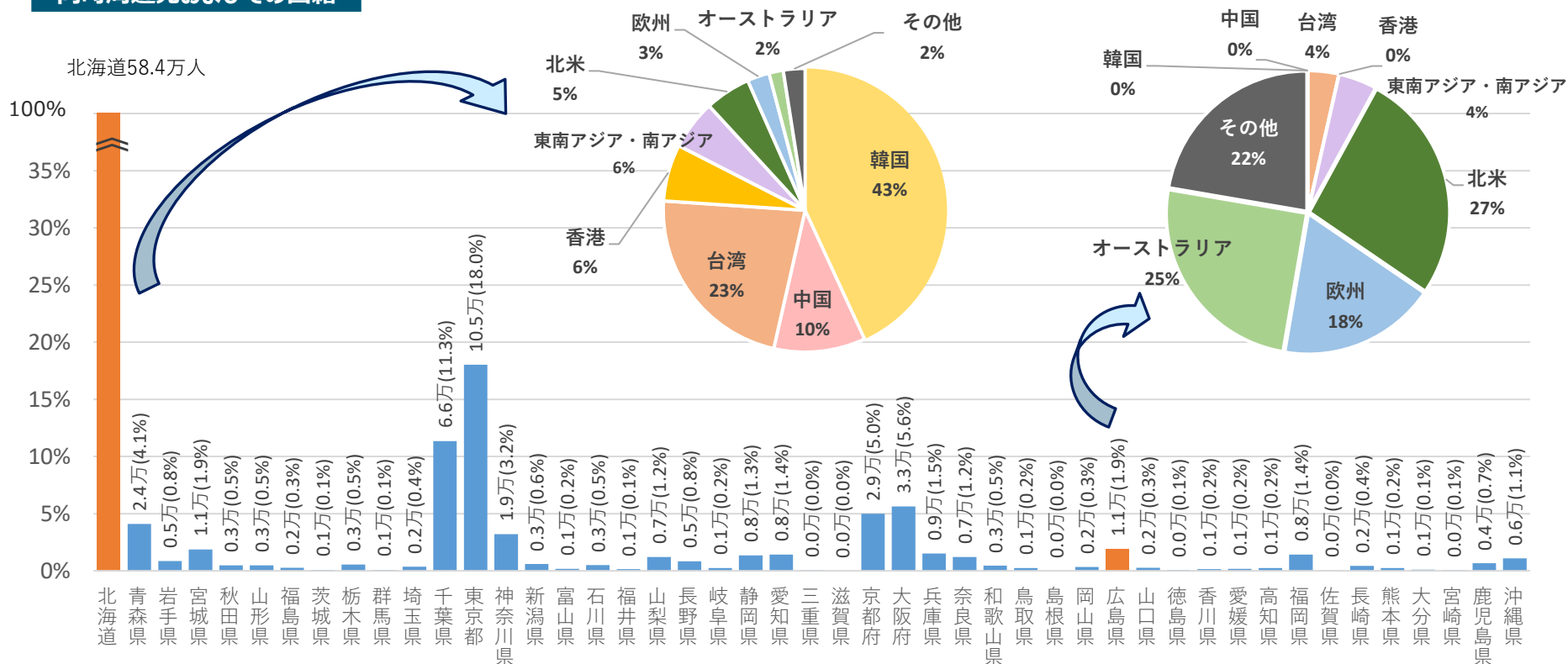
出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」個票データより算出
※個票データ公表は2024年4月以降であることから年度による整理とした

3.1 北海道訪問者の周遊先（都道府県別・夏季）

夏季の北海道訪問者の広島県への同時訪問率は、1.9%と通年並みの水準

- 北海道訪問者（夏季：7月～9月）の同時周遊率は、通年同様に東京都（18.0%）、千葉県（11.3%）、大阪府（5.6%）、京都府（5.0%）、青森県（4.1%）が上位。広島県は、1.9%と略通年並みの水準
- 北海道訪問者の欧米豪の割合（10%）および広島県同時往訪者の欧米豪の割合（70%）は、ともに通年比で概ね変わらず

同時周遊先およびその国籍

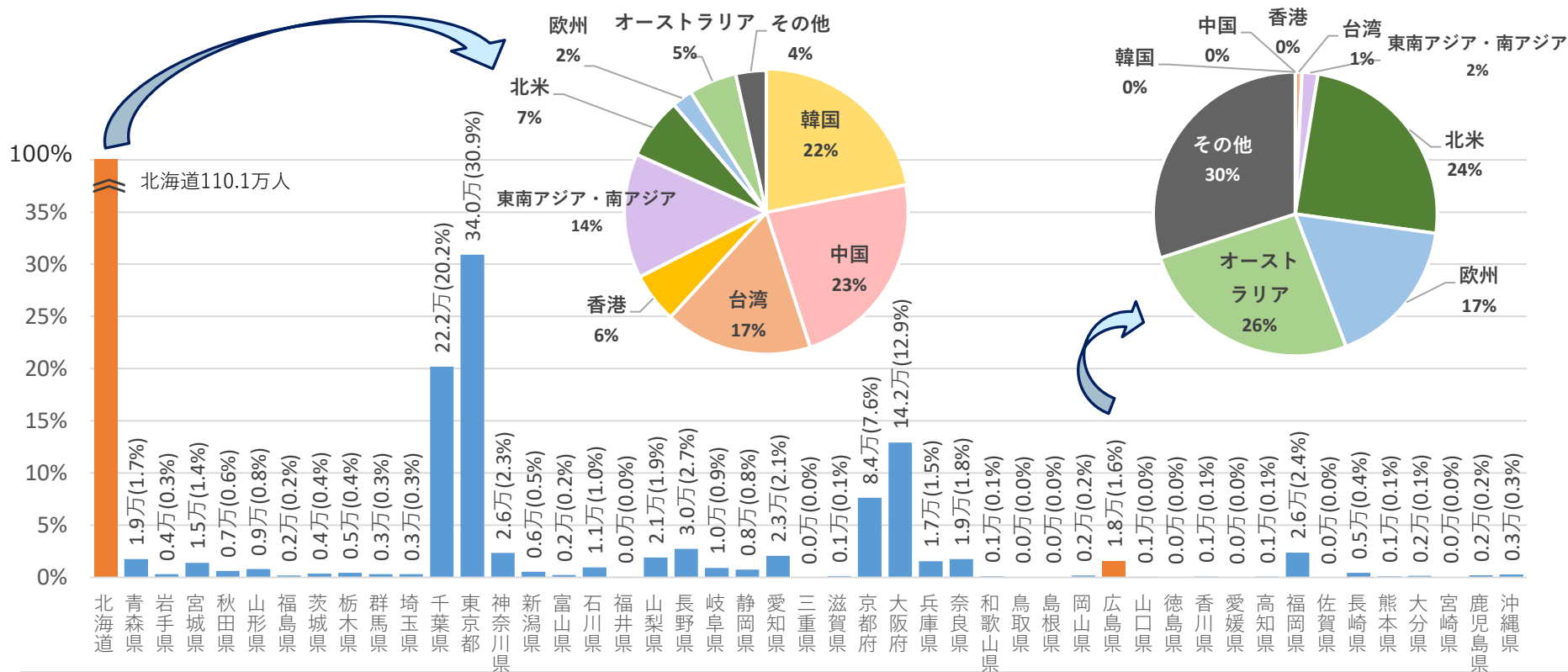


出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」個票データより算出
 ※個票データ公表は2024年4月以降であることから年度による整理とした

3.1 北海道訪問者の周遊先（都道府県別・冬季）

冬季の北海道訪問者は夏季の2倍ながら広島県への同時訪問率は、1.6%に減少

- 冬季（1月～3月）の北海道訪問者は、夏季の1.9倍程度
- 同時周遊先は、東京都（30.9%）、千葉県（20.2%）、大阪府（12.9%）、京都府（7.6%）までが同年同様の順位となったが、より上位への偏りが確認された。以下、長野県（3.0%）および福岡県（2.4%）が続く。冬の誘客を行いたい広島県であるが、1.6%と通年比では減少する
- 北海道訪問者の欧米豪の割合（14%）および広島県同時往訪者の欧米豪の割合（67%）は、ともに通年比で概ね変わらず



出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」個票データより算出
 ※個票データ公表は2024年4月以降であることから年度による整理とした

3.2 倶知安町訪問者の周遊先

人流計測値について

- 前述の北海道訪問における欧米豪の都道府県周遊は、公的データから捉えることができた。一方、人気のスノーリゾートなど市町村単位まで掘り下げる集計においては、公的データからの整理は困難となる
- そこで、Agoopの人流計測を基に以下の整理を行った。深掘りのテーマとして「ウィンターシーズンに人気の欧米豪の周遊動向」とし、倶知安町来訪におけるインバウンドを1事例として取り上げた
- なお、倶知安町来訪のインバウンドが全国の市町村滞在の同時来訪率を計測する際には、特定の人数以下で秘匿処理が入り、評価できなくなる。本分析では、サンプルの欠落が少なく、周遊動態を定量的に示せる以下のケースで実施した

倶知安町来訪者の周遊分析

集計ケース	
2025年の年間【全国籍】	倶知安町来訪者の年間周遊で妥当な人流を捉えた
2025年の年間【欧米豪】	倶知安町来訪者の年間周遊で妥当な人流を捉えた

※季節及び月別、国籍別評価では、周遊先の来訪者数が小さく、集計結果に計上されないリスクがあるため、上記のケースで分析した。なお、倶知安町来訪かつ広島県の各市町村の国籍割合については、3.1、3.2の観光庁による県別周遊を参考とされたい

3.2 倶知安町訪問者の周遊先（倶知安町訪問者の国籍）

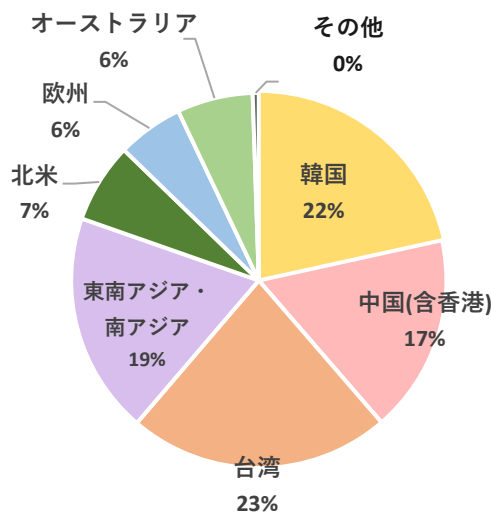
北海道同様にアジアが大宗を占める。オーストラリア人が7%

- （左表）倶知安町訪問者の国籍別割合は、アジアが8割となり、北海道の通年の国籍割合（17頁）と大差はない。オーストラリア人は7%程度と北海道全体（同）と比べ多少増える
- （右表）倶知安町の宿泊延数は参考。訪問者（人流データ）と単純比較はできないが、概ね人流データに整合していることを確認

倶知安町来訪者の周遊分析 (2025年)

単位：人

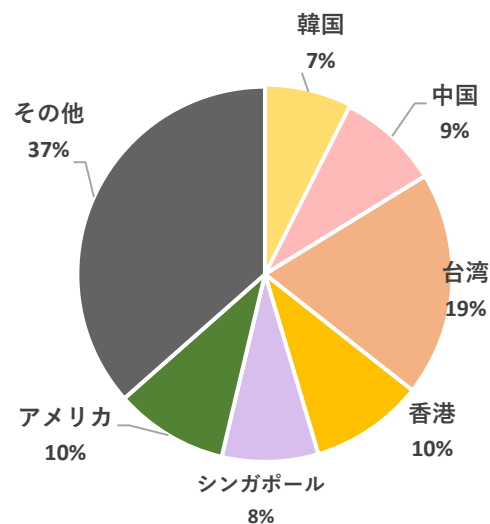
国・地域	来訪者数
韓国	23,058
中国(含香港)	18,287
台湾	24,192
東南・南アジア	20,424
北米	7,363
欧州	6,093
オーストラリア	6,998
その他	557
合計	106,972



訪日外国人旅行者宿泊延数 (2025年度)

単位：人泊

国・地域	人数
韓国	9,547
中国	11,311
香港	12,564
台湾	24,879
シンガポール	10,662
アメリカ	12,561
その他	46,875
合計	128,399



3.2 倶知安町訪問者の周遊先（市町村別）

京都市は空港利用がないものの倶知安町との同時周遊率が高い。

欧米豪他による倶知安町との同時周遊率は、近隣の北海道の市町村のほか、空港利用等での周遊が考えうる東京都や大阪府の市町村および千葉県成田市を除くと、京都市（13.6%）、名古屋市（6.8%）、那覇市（5.9%）が上位。地方部では、多治見市、奈良市、浦安市等が上位50位に入ったほか、広島県内では、広島市（80位）、廿日市市（123位）、尾道市（209位）となった。全国籍で同時周遊率は、欧米豪と順位に大きな変動はないが、京都市以下の周遊率が低いことから、それらの都市への周遊を欧米豪が牽引していることが推定される。

欧米豪他

順位	都道府県	市町村	周遊率
	北海道	倶知安町	100.0%
1	北海道	千歳市	75.2%
2	東京都	大田区	50.8%
3	北海道	虻田郡ニセコ町	49.6%
4	北海道	札幌市	41.3%
5	東京都	新宿区	25.9%
6	東京都	港区	22.7%
7	千葉県	成田市	22.6%
8	東京都	渋谷区	21.4%
9	東京都	中央区	19.1%
10	東京都	台東区	17.6%
13	京都府	京都市	13.6%
25	愛知県	名古屋市	6.8%
28	沖縄県	那覇市	5.9%
33	愛知県	常滑市	5.0%
36	岐阜県	多治見市	4.4%
37	奈良県	奈良市	4.3%
40	神奈川県	川崎市	4.1%
43	福岡県	福岡市	3.8%
46	千葉県	浦安市	3.4%
53	山梨県	南巨摩郡早川町	3.3%
54	愛知県	岡崎市	3.3%

順位	都道府県	市町村	周遊率
80	広島県	広島市	2.1%
123	広島県	廿日市市	0.9%
209	広島県	尾道市	0.2%

- 11位以下は、東京都ならびに大阪府の市町村、および千葉県成田市を除いて表示している
- 80位以下は、広島県内の市町のみを表示した

全国籍

順位	都道府県	市町村	周遊率
	北海道	倶知安町	100.0%
1	北海道	千歳市	88.6%
2	北海道	札幌市	66.7%
3	北海道	小樽市	52.8%
4	北海道	虻田郡ニセコ町	42.1%
5	北海道	虻田郡洞爺湖町	24.8%
6	北海道	登別市	23.3%
7	北海道	北広島市	23.1%
8	北海道	函館市	22.1%
9	北海道	有珠郡壮瞥町	18.5%
10	東京都	大田区	17.9%
39	京都府	京都市	4.3%
47	愛知県	名古屋市	2.7%
50	沖縄県	那覇市	2.3%
54	福岡県	福岡市	2.2%
55	愛知県	常滑市	2.0%
60	神奈川県	川崎市	1.6%
65	千葉県	浦安市	1.5%
66	奈良県	奈良市	1.4%
68	神奈川県	横浜市	1.4%
71	山梨県	南都留郡富士河口湖	1.3%
75	神奈川県	足柄下郡箱根町	1.1%

順位	都道府県	市町村	周遊率
93	広島県	広島市	0.8%
158	広島県	廿日市市	0.4%
280	広島県	三原市	0.1%
366	広島県	竹原市	0.1%
397	広島県	東広島市	0.1%
398	広島県	山県郡北広島町	0.1%
450	広島県	三次市	0.1%
452	広島県	福山市	0.1%
537	広島県	尾道市	0.0%

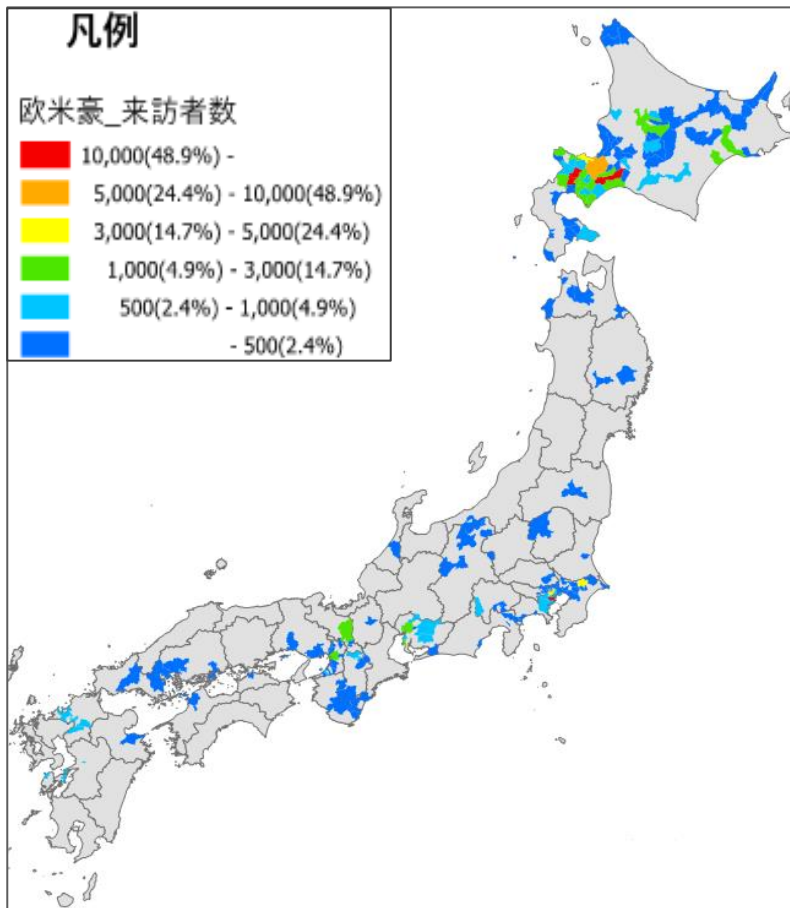
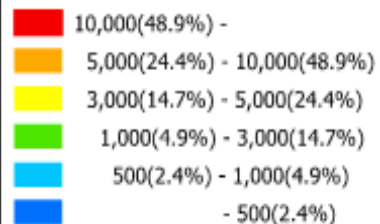
- 11位以下は、東京都ならびに大阪府の市町村、および千葉県成田市を除いて表示している
- 93位以下は、広島県内の市町のみを表示した

3.2 倶知安町訪問者の周遊先（市町村別・全国）

欧米豪他

凡例

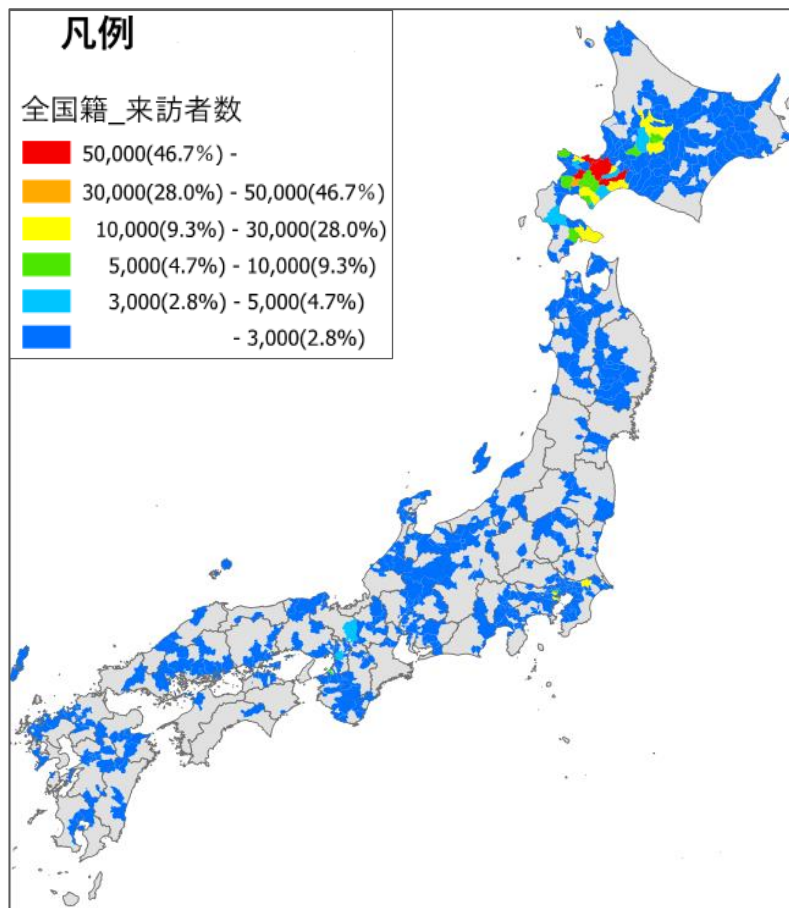
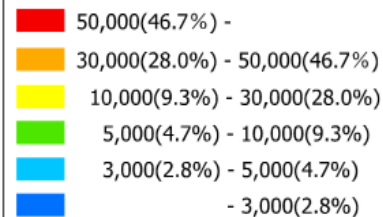
欧米豪_来訪者数



全国籍

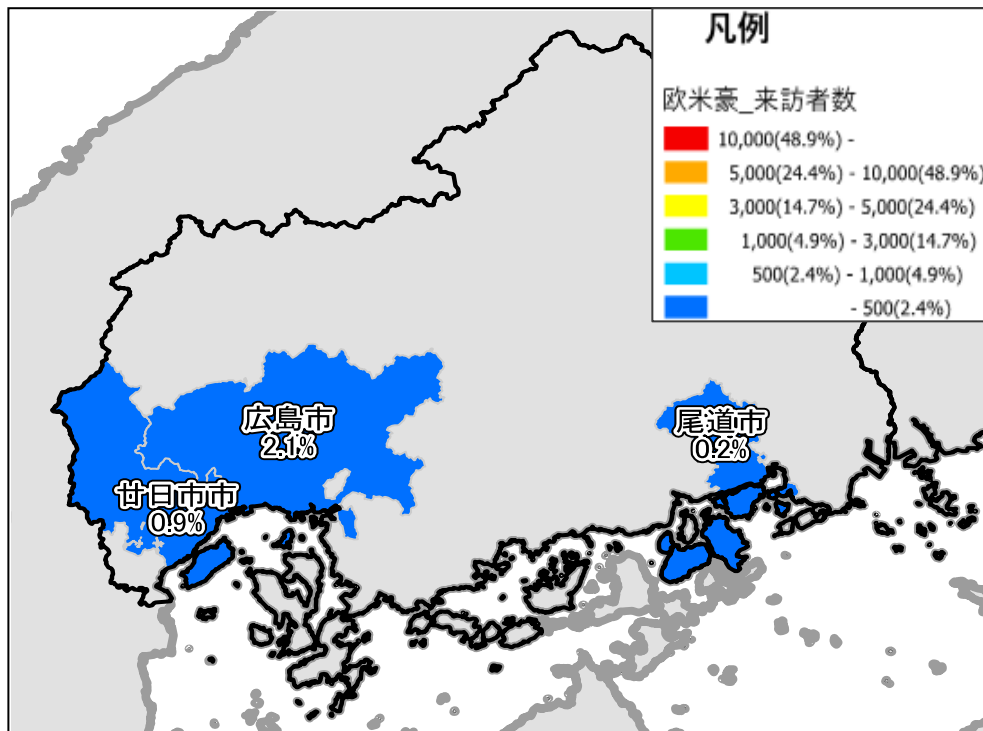
凡例

全国籍_来訪者数

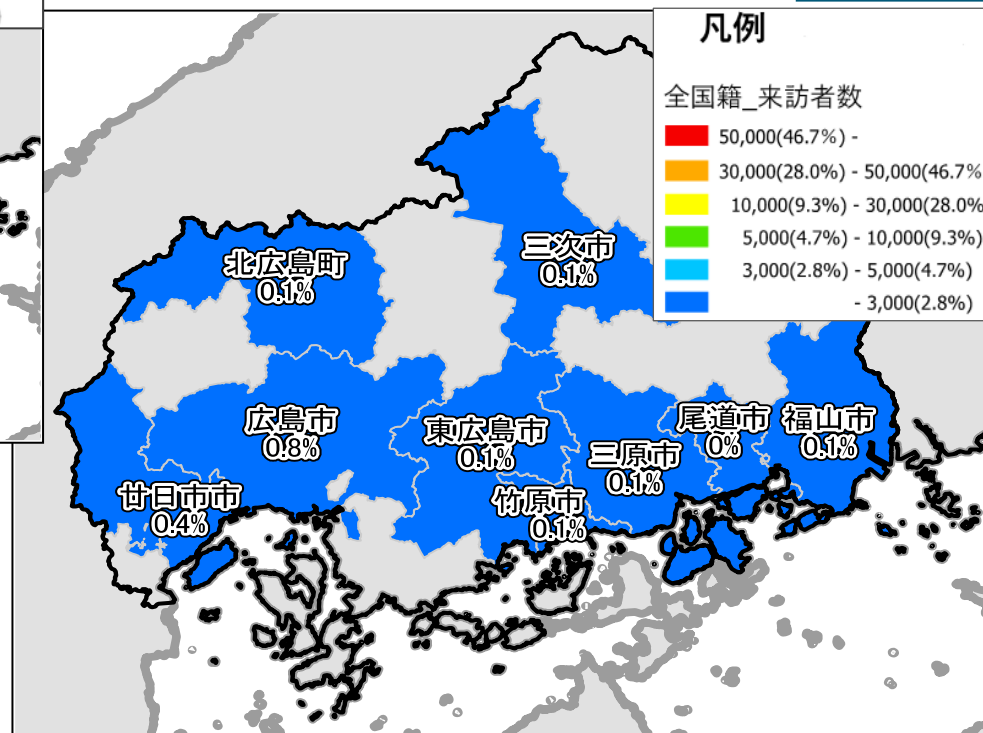


3.2 倶知安町訪問者の周遊先（市町別・広島県）

欧米豪他



全国籍



<使用した位置情報データについて>

「Agoop インバウンドデータ」

- 利用サービス： Agoop インバウンド定型分析レポート
- 外国人インバウンドデータ： Azira LCC.(旧社名 Near Intelligence, 本社:米国)が保有するグローバル位置情報データを基に、Agoopにて集計加工したデータ
 - ※個人を特定できないように秘匿化・プライバシー保護対策実施済みのデータのみを提供

<使用した位置情報データについて>

「インバウンドプロファイラー」

- ナビタイムジャパンが提供する訪日外国人向け経路検索・多言語観光案内アプリ「Japan Travel by NAVITIME」から利用者の同意を得て取得したインバウンドGPSデータと属性アンケートのデータを元に、訪日外国人旅行者が集まっている場所や時間帯、季節別の傾向などを比較、分析が行えるWeb分析システムを利用し主に来訪者数の月ユニーク値を利用している

著作権（C） Development Bank of Japan Inc. 2026

当資料は、株式会社日本政策投資銀行（DBJ）により作成されたものです。

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引などを勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願いいたします。

本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要です。当行までご連絡ください。著作権法の定めに従い引用・転載・複製する際には、必ず『出所：日本政策投資銀行』と明記してください。